

## 【社会系（地理歴史）教科指導法】 1.1ver（20180616 版）

### 1. 授業のテーマとねらい

本授業は、民主主義社会の形成者の育成という視点から中等社会科及び地理歴史科を指導できる教師の資質・能力の育成をめざす。本授業で多様な active leaning の手法を実体験することで、以下の3点ができること目的とする。

- (1) 授業は所与の存在ではなく、教師の目標に基づいて「デザイン」されることに気付く。
- (2) 授業の構成を「分析」し、指導案を「開発」し、実践を「評価・改善」できる。
- (3) 「良い」授業についての自分なりの判断規準を確立して、説明できる。

### 2. スケジュール

#### (1) 第1講・第2講【教育観・教科観の省察①－目標準拠の思考】 6/11

**「社会科教師の専門性ってなに」と問われたら、どう答えますか？**

1コマ： オリエンテーションとグループ分け（4人×14班）

「博多・華丸大吉」の漫才にみる理数科授業「あるある」と「突っ込みどころ」

「ナチズムの台頭」にみる社会科授業「あるある」と「突っ込みどころ」

2コマ： ① この教師の授業の目標を推論する－「中世の枀」「第1回普通選挙」

② これは「良い」授業か、良い授業の「規準」とは

③ 「バケツ理論」とは何か、「レリバンス」とは何か、「観察による徒弟制」とは何か

#### (2) 第3講・第4講【教育観・教科観の省察②－目標の多様性】 6/18

**あなたは、誰が授業をしても「同じ」とは思っていないませんか？**

1コマ： 「大正デモクラシー」を教えるならば、なんのために・何をこそ教えるか

2コマ： ① 4人の教師の指導案は、どこが、どのように違うか

② あなたの「一押し」の指導案はどれか、それはどうして、まだ足りないことは

③ 「知識の構造」とは、「エイムトーク/ゲートキーピング」とは

#### (3) 第5講・第6講【授業の分析法①－Whatの探究】 6/25

**他者の「良い」授業から、どんなことを学ぶことができますか？**

1コマ： 「亜熱帯の沖縄」と「石山合戦」を比較しよう

2コマ： ① 地理や歴史の「何を」教えているか

② 「地域」「時代」の分かり方・教え方に、どのような異同があるだろうか

③ 「科学的思考力」とは何か、「ツールミンモデル」とは何か

#### (4) 第7講・第8講【授業の分析法②－whyの探究】 07/02

**他者の「良い」授業から、どんなことを学ぶことができますか？**

1コマ： 「律令国家・唐」と「交通ネットワーク」を比較してみよう

2コマ： ① 社会（政治・経済・社会）の「何を」教えているだろうか

② 「社会」の分かり方・教え方に、どのような異同があるだろうか

③ 「オーセンティック」な学びとは何か、「最近接領域」とは何か

(5) 第9講・第10講【授業の開発法①－社会を分かると作る】07/09

**より「良い」授業を作るために、私にできることは何だろう？**

- 1コマ：「石山合戦」と「メキシコの借金」を比較してみよう  
2コマ：① 授業づくりに当たって、教師が行うべきタスクをリスト化しよう  
② 「引きだし」「揺さぶる」ために、教師はどのような工夫をしているか  
③ 「構築主義」とは何か、「実証主義」とは何か

(6) 第11講・第12講【授業の開発法②－分かる・作るための足場掛け】07/16

**より「良い」授業を作るために、私にできることは何だろう？**

- 1コマ：「貿易ゲーム」をやってみよう  
2コマ：① 授業づくりに当たって、教師が行うべきタスクをリスト化しよう  
② 「自分事」「他人事」にするために、教師はどのような工夫をするべきか  
③ 「スクワオールディング」とは何か、「逆向き設計」とは何か

(7) 第13講・第14講【授業の評価法①－改善の作法】07/23

**より「良い」授業に改善するために、私たちにできることをやってみよう！**

- 1コマ：「讃岐の糖業の父：向山周慶」の改善案，再改善案を比較しよう  
2コマ：① 棚橋先生は，オリジナルの授業を，どのように・なぜ改善したか  
② 桑原先生と岩下先生では，なぜ棚橋プランの評価が異なるのか  
③ 谷先生は，棚橋先生の授業を，どのように・なぜ改善したか  
④ 「授業研究（内在的・外在的批判）」とは何か，「リフレクション」とは何か

(8) 第15講【授業の評価法②－規準・基準の合意】07/30

**より「良い」授業に改善するために、私たちにできることをやってみよう！**

- 2コマ：① 授業（指導案）を評価するルーブリックを作ろう  
② 先輩の授業（指導案）を評価してみよう  
③ 私たちが最終レポート（指導案）を作成するときに気を付けるべきことは何か  
④ 「ルーブリック」とは何か

### 3. 評価

(1) **グループでの取組課題 5点×7回 = 35点**

授業の1コマ目では，主にGWに取り組みます。

授業の2コマ目では，GWの成果をプレゼンテーションしたり，議論したりします

(2) **個人の取組課題 65点**

以下いずれかの視点から，「授業（指導案）」1時間分を開発する（50点）

提出期限は，8月6日（火）Bb9経由で提出する。

- ① 「ナチズムの台頭」の課題を踏まえて，抜本的に授業を作り替える  
② 「メキシコの借金」のアイデアを活かして，「他の地域」ヴァージョンに作り替える  
③ 「シリーズ日本近現代史 1-10（岩波）」を，講義での学びを活かして授業化する  
④ 「貧困大国アメリカ 1,2（岩波）」を，講義での学びを活かして授業化する

## 4. その他

### (1) 持参物

毎回、ノート PC またはタブレット端末を持参すること。

コース packets (教材資料集) は、下記のホームページでダウンロードしてください

### (2) 欠席・遅刻

3 回を越えて欠席した場合は (特別な理由がある場合を除いて) 受講資格を失います  
9 時を越えて入室した場合は遅刻とします。2 回の遅刻で、1 回の欠席とみなします

### (3) 参考書・教科書

以下の文献をお勧めします、

社会認識教育学会編『中学校社会科教育』『地理歴史科教育』(新版)、学術図書  
全国社会科教育学会『新 社会科授業づくりハンドブック中学校編』、明治図書

### (4) 講義情報

端末には、以下の URL とアドレスを登録しておいてください。

ホームページ: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/~kusahara/kusalab/>

メールアドレス: [kusahara@hiroshima-u.ac.jp](mailto:kusahara@hiroshima-u.ac.jp)

### (5) TA

D1: 小栗さん, M2: 篠田さん, M1: 孫さんがサポートします

授業づくり等で相談したい時は、A410 の院生室を訪ねるか、アポをとってください